



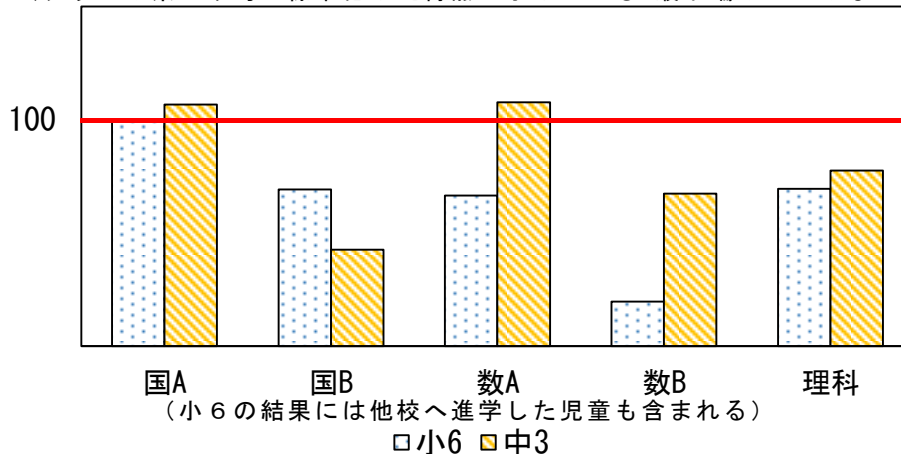
全国学力・学習状況調査の結果で取組の成果や今後の課題が見えてきました！

4月に3年生に実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本校の結果は右の通りです。小学校6年生時に受けた全国学力・学習状況調査の結果と比較しています。

国語と数学はA・B問題があり、A問題は知識を問ひ、B問題は知識の活用を問うています。グラフの目盛は県の平均を100で示しています。A問題は国、数とも6年生時より向上し、県平均を超えています。B問題は残念ながら国語が下降していますが、数学は大幅に正答数を伸ばしています。また、3年ごとに実施される理科（A・Bはなし）も向上しています。

県平均を満たしているのは2項目しかありませんし、グラフをどのように見るかで評価は変わりますが、本校の3年生が中学校に入学してから、着実に学力をつけてきているのは事実です。これは、年間を通して実施している学力テストの変容からも明らかです。3年生の地道な努力と、本校の様々な取組が少しずつですが実を結び始めていることを素直に喜びたいと思います。そして、課題である国語の活用力の伸張に寄与できるように、朝読書の取組の充実など、1つ1つ地道に行い進路実現につなげていきたいと思ひます

全国学力・学習状況調査の小6時と中3時の比較
(グラフは県の平均で標準化した得点で示している 最下端は0ではない)



また、質問紙調査の結果から、本校の生徒は「夢や希望を持っているか」「家での予習復習・勉強時間」が全国や県と比較して少ないという結果が出ています。生活習慣や自分の人生に責任を持つ人間性が養われてこそ社会で生きて働く力が身につくものです。ご家庭でも一度この結果を見つめ直してみてください。

全国学力・学習状況調査は、今後の社会で生き抜く力をつけるための授業や生活のあり方を探り、改善するために行われています。他と比較するのではなく、結果を見取って、どう今後に生かすかが問われています。

「他人と過去は変えられない」が「自分と未来は変えられる」

本校で大切にしたいことの1つに、9年間で子どもを育てることがあります。前号でもお知らせしましたが、小学校の先生方は「小学校のつまずきは小学校の責任」と、補充学習など中学生になっても関わってもらっています。

中学校では、生徒に入学時以上の学力をつけ、少しでも可能性が広がるよう進路実現に寄与したいと思っています。そして、社会の一員としての生き抜く力を身につけさせたいと思ひます。



紹介します！



伊藤先生

本校の支援員として6月から伊藤先生、8月から草場先生が勤務されています。お二人は、長く支援員をしていただいている鶴先生とともに特別支援学級を中心に活動されています。



草場先生

昨年は、支援員の先生に特別支援学級の生徒だけでなく、すべての生徒に対して学習支援をしていただき、授業でわからないところを尋ねて成績が上がった生徒もいました。

是非支援員の先生と仲良くなって、色々と相談してみてください。



鶴先生→

ご協力、ありがとうございました！



去る8月19日(日)に実施した資源回収では、多くの保護者の皆さんにお手伝いいただきありがとうございました。おかげをもちまして25,200円の収益をあげることができました。

P T A 執行部の皆さんと相談して、生徒の主体的な活動につながることに使わせていただきます。ご多用中にもかかわらず参加いただいた皆さんありがとうございました。